

1 主からエレミヤに臨んだ言葉。

2 「イスラエルの神、主はこう仰せられる、私があなたに語った言葉を、ことごとく書物にしなさい。

3 王は言われる、見よ、私がわが民イスラエルとユダの繁栄を回復する日が来る。主がこれを言われる。私は彼らを、その先祖に与えた地に帰らせ、彼らにこれを保たせる」。

4 これは主がイスラエルとユダについて言わされた言葉である。

5 「主はこう仰せられる、われわれはおののきの声を聞いた。

恐れがあり、平安はない。

6 子を産む男があるか、尋ねてみよ。どうして男がみな子を産む女のように手を腰におくのを私は見るのか。

なぜ、どの人の顔色も青く変っているのか。

7 悲しいかな、その日は大いなる日であつて、それにはヤコブの悩みの時である。

しかし彼はそれから救い出される。

8 万軍の主は仰せられる、その日私は彼らの首からそのくびきを碎き離し、彼らの束縛を解く。異邦の人はもはや、彼らを使役することをしない。

9 彼らはその神、主と、私が彼らのために立てるその王ダビデに仕える。

10 主は仰せられる、わがしもヘヤコブよ、恐れることはない、イスラエルよ、驚くことはない。

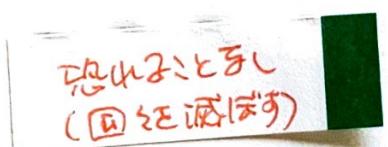
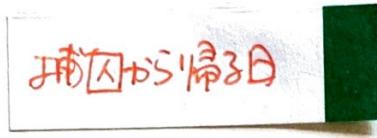
見よ、私があなたを救つて、遠くからかえし、あなたの子孫を救つて、その捕え移された地からかえすからだ。

ヤコブは帰ってきて、穏やかに安らかにおり、彼を恐れさせる者はない。

11 主は言われる、私はあなたと共にいて、あなたを救う。私はあなたを救らした國々を

ことごとく滅ぼし尽す。しかし、あなたを滅ぼし尽すことではない。

私は正しい道に従つてあなたを懲らしめる。決して罰しないではおかない。



31

6 見守る者がエフライムの山の上に立つて
呼ばわる日が来る。

「立つて、シオンに上り、
われわれの神、主に、もうでよう」と。

7 主はこう仰せられる、
「ヤコブのために喜んで声高く歌い、

万国のかしらのために叫び声をあげよ。

告げ示し、ほめたたえて言え、

「主はその民イスラエルの残りの者を救われた」と。

8 見よ、私は彼らを北の国から連れ帰り、
彼らを地の果から集める。

彼らのうちには、盲人やあしなえ、
妊婦、産婦も共にいる。

彼らは大きな群れとなつて、ここに帰つてくる。

9 彼らは泣き悲しんで帰つてくる。

私は慰めながら彼らを導き帰る。

彼らがつまずかないように、まっすぐな道によ
水の流れのそばを通らせる。

それは、私がイスラエルの父であり、
エフライムは私の長子だからである。

10 万国の民よ、あなたがたは主の言葉を聞き、
これを遠い、海沿いの地に示して言いなさい、
イスラエルを散らした者がこれを集められる。

牧者がその群れを守るようにこれを守られる」と

11 すなわち主はヤコブをあがない、
彼らよりも強者の手から彼を救いだされた。

12 彼らは来てシオンの山で声高く歌い、
主から賜わった良い物のために、

穀物と酒と油および若き羊と牛のために、
喜びに輝く。

13 その魂は潤う園のようになり、
彼らは重ねて褒えることがない。

私は彼らの悲しみを喜びにかえ、
彼らを慰め、憂いの代りに喜びを与える。

14 私は多くのささげ物で、祭司の心を飽かせ、
私の良き物で、私の民を満ち足らせると
主は言われる」。

31

15 主はこう仰せられる、
嘆き悲しみ、いたく泣く声がラマで聞える。

ラケルがその子らのために嘆くのである。
子らがもはやいないので、

彼女はその子らのことで慰められるのを願わない」。

16 主はこう仰せられる、
「あなたは泣く声をとどめ、
目から涙をながすことをやめよ。

あなたわざに報いがある。

彼らは敵の地から帰つてくると主は言われる。

17 あなたの将来には希望があり、
あなたの子供たちは自分の国に帰つくると
主は言われる。

18 私は確かに、エフライムが
こう言つて嘆くの聞いた、

「あなたは私を慰められた、
私はくびきに慣れない子牛のように

懲しめをうけた。

主よ、あなたは私の神、主でいらせられる、
私はそれから帰つて、もとにかえしてください。

19 私はそむき去つた後、悔い、
教をうけた後、ももを打つた。

若い時のはずかしめが身にあるので、
私は恥じ、うろたえた」。

20 主は言われる、
エフライムは私の愛する子、

私の喜ぶ子であろうか。

私は彼について語ることに、
なお彼を忘れることができない。

それゆえ、私の心は彼をしたつている。

私は必ず彼をあわれむ。

みずからのために道するべを置き、
みずからのために標柱を立てよ。

大路に、あなたの通つて行つた道に心を留めよ。
イスラエルのおとめよ、帰れ、

これらの、あなたの町々に帰れ。
不信の娘よ、いつまでさまようのか。

主は地の上に新しい事を創造されたのだ、
女が男を保護する事である」。

エフライムも帰子
祭の歌

嘆き→あいのす

- 嘆きと角川 p.30:
- 都土りの歌 p.126

1ペル8:8-13 (10:15-18)

新しい契約の日

- 31 主は言われる、見よ、私が人の種と獸の種とをイスラエルの家とユダの家とにまく日が来る。
- 32 この契約は私が彼らの先祖をその手をとつてエジプトの地から連れ出した日に立てたようなものではない。私は彼らの夫であったのだが、彼らはその私の契約を破つたと主は言われる。
- 33しかし、それらの日の後に私がイスラエルの家に立てる契約はこれである。すなわち私は、私の律法を彼らのうちに置き、その心にしるす。私は彼らの神となり、彼らは私の民となると主は言われる。
- 34人はもはや、おのれのそ隣とその兄弟に教えて、「あなたは主を知りなさい」とは言わない。それは、彼女が小より大に至るまで皆、私を知るようになるからであると主は言われる。私は彼らの不義をゆるし、もはやその罪を思わない」。

31 23 万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、「私が彼らを再び榮えさせる時、人々はまたユダの地とその町々でこの言葉を言う、「正義のすみかよ、聖なる山よ、どうか主がおまえを祝福してくださいように」。

24 ユダとそのすべての町の人 および農夫と群れを飼つて歩き回る者は共にそこに住む。

25 私が疲れた魂を飽き足らせ、すべて悩んでいる魂を慰めるからである」。

26 ここで私は目をさましたが、私の眠りは、ここちよかつた。

35 主はこう言われる、すなわち太陽を与えて昼の光とし、月と星とを定めて夜の光とし、海をかき立てて、その波を鳴りとどろかせる者——その名は万軍の主という。

36 主は言われる、「もし上の天を量ることができ、下の地の基を探ることができますなら、そのとき、私はイスラエルのすべての子孫をそのもろもろの行いのために捨て去ると主は言われる」。

37 主は言われる、「もし上の天を量ることができ、下の地の基を探ることができますなら、そのとき、私はイスラエルのすべての子孫をそのもろもろの行いのために捨て去ると主は言われる」。

38 主は言われる、「見よ、この町が、ハナネルの塔から隅の門まで、主のために再建される時が来る。

39 測りなわはそれよりも遠くまつすぐに延びて、ガレブの丘に達し、ゴアのほうに向かう。

40 死体と灰との谷の全部、またキデロンの谷に行くまでと、東のほうの馬の門のすみに行くまでとのすべての烟はみな主の聖なる所となり、永遠にわたって、ふたたび抜かれ、また倒されることはない」。

町の再建

夫(妻)

